

科目分類	専門分野Ⅱ	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	母性看護学概論	学 期	前 期	狩野 鈴子 (助産師) 濱村美和子 (助産師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目 的 (ねらい)	母性看護の基礎となる概念と母性のとらえ方、母性各期のライフサイクルにおける健康課題や健康の保持・増進について理解する。さらに母性看護の歴史的変遷を母子保健の動向とともに理解し、母性看護を学ぶ基礎を育成する。			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・母性看護の基礎となる概念と母性のとらえ方について理解する。 ・母性看護の歴史と統計的指標からその変遷を知り母性看護に関する組織や法律、母子保健施策の観点から、母性看護の現状を理解する。 ・母性看護に必要な健康課題や健康の保持・増進について理解する。 ・母性看護における看護展開に必要な基本的知識と技術を理解する。 ・女性のライフサイクルにおける機能・形態および心理的・社会的特徴を理解する。 			
授業計画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1～2	母性看護の対象理解	女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化 女性のライフサイクルと家族、母性の発達・成熟・継承	講義/演習
	3～4	女性のライフステージ各期における看護	ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性 / 思春期・成熟期・更年期・老年期の健康と看護	講義/演習
	5～8	リプロダクティブヘルスケア ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性	リプロダクティブヘルスケア：性感染症・HIV・妊娠中絶等、喫煙・DV・在日外国人・家族計画等	講義/演習
	9～10	母性看護の基盤となる概念	母性とは・母子関係と家族発達・セクシュアリティ等、母性看護のあり方、母性看護における安全・事故防止等	講義
	11～12	母性看護に必要な看護技術	母性看護における看護過程、情報収集・アセスメント技術 母性看護に使われる看護技術	講義
	13～15	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状	母性看護の歴史的変遷と現状 母性看護の対象を取り巻く環境	講義/演習
教科書	系統看護学講座専門 母性看護学概論 母性看護学(1) 医学書院			
参考文献	「わが国の母子保健 令和4年」財団法人母子衛生研究会 その他は授業時紹介する。			
評価方法	定期試験 100% 狩野教員(50点)、濱村教員(50点) 合計100点満点での結果を最終評価とする。			
関連科目				
自己学習に関する指針	テキストには必ず目を通してから臨みましょう。新聞などを読み、母子を取り巻く社会状況がどのように変化しているか捉えるようにしましょう。			
その他の 通知事項				